

# さいたま市の **新時代** に向けて

令和3年市議会2月定例会で、市長が施政方針演説を行いました。  
そこで説明したなかから、新年度の市政運営の基本的な考え方や主要な施策などを紹介します。

さいたま市では、市民一人ひとりがしあわせを実感できる都市、市民や企業から選ばれる都市を目指し、市政運営を進めております。

**成長力・財政・市民満足度**

都市の成長力では、昨年5月に総人口132万人を突破し、社会増加倍率は政令指定都市で1位、0～14歳の社会増では2年連続で全国1位となりました。

財政の健全性では、財政力指数が政令指定都市で3番目に高く、市民一人当たりの市債残高は政令指定都市で2番目に低いという健全な財政状況を維持しております。

市民満足度は、市民意識調査において、本市を「住みやすい」と感じる市民の割合が令和2年度に過去最高の86.3%に達しました。

こうした成果は皆様が、地域の課題を考え、行動していただいた賜物たまにほかなりません。



## 市政運営の基本的な考え方

### POINT 01 感染症を克服し、真に災害に強いレジリエント※シティを目指す

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ワクチン接種体制を迅速に整備し、速やかに予防接種を実施するなど、感染拡大防止の取り組みに全力を尽くします。また、自然災害への対策としては、ソフト・ハード一体となった総合的な防災対策に取り組みます。

※レジリエント…強くてしなやかなさま。回復力、弾力があるさま。

### POINT 02 <sup>ひら</sup>さいたま市の新たな未来を拓く挑戦のスタート

本市は今年、誕生から20周年を迎えます。市民の皆様と共に未来に向かって決意を新たにしていくため、20周年を記念するさまざまな取り組みを進めていきます。

新たな本庁舎の整備方針については、合併30周年を目的に「さいたま新都心バスターミナルほか街区」への移転を目指します。庁舎移転後の現庁舎地の在り方としては、古くから教育の先進地であった歴史などを踏まえ、「文教都市」、「県都」を象徴し、「多様な世代に愛され、県都・文教都市にふさわしい感性豊かな場所」とすることを目指すべき方向性とし、具体的な利活用イメージは、文化芸術拠点、教育・先進研究拠点、市民交流拠点等を想定しており、これらを基本に検討していきます。今後、市民の皆様とも議論を深め、幅広く意見をお聞きしながら、検討を進めていく予定です。

### POINT 03 新たな時代を見据えた行政の在り方の刷新

本市の総人口は、2030年をピークに減少することが予想されております。人口減少を迎えるまでの「運命の10年」は、行政を進化させていくための「運命の10年」でもあります。本市においても、デジタル化を優先する「デジタルファースト」な行政運営への転換を図り、行政手続の原則オンライン化、テレワークの推進などに取り組みます。

# 令和3年度当初予算編成にあたり重視した 3つの柱

さいたま市の新時代へ前進するために、令和3年度にはさまざまな事業が動き出します。  
予算編成にあたって重視した3つの柱と、その事業内容を紹介しします。

## 新型コロナウイルス感染症と自然災害への対策

新型コロナウイルス感染症の対策として、市民へのワクチン接種体制を迅速に整備し、速やかに予防接種を実施します。また、病床確保や患者の受入れを行った医療機関などへの補助、検査、入院医療費等の公費負担など、引き続き市民の命を守るための支援を行います。

自然災害への対策では、「油面川排水機

場」の整備など、近年の豪雨災害を踏まえた準用河川や排水路の改修などを推進します。また、防災情報等の的確な伝達ができるスマートフォンアプリを新たに構築し、市民一人ひとりの自助を支援していくとともに、避難所としても活用される市立中学校の体育館への空調設置を進めます。



ワクチン接種のイメージ

## さいたま市誕生20周年を契機に新たな未来を拓く取組

未来に向けて決意を新たに、市への愛着と誇りの醸成を図るため、市民憲章を制定し、記念式典などを実施します。

新たな総合振興計画の推進にあたっては、「SDGs」、「スマートシティ」という視点をもって事業を展開することで、本市が育んできた魅力や地域資源を更に生かし、未来に引き継ぐための持続可能な都市づくりを進めます。具体的には、令和2年7月に表明した「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」（ゼロカーボンシティ）の実現を目指し、エネルギーの地産地消

や再生可能エネルギー等の利活用を通じた都市間連携を推進し、環境・エネルギー政策を契機とする経済・社会との統合的な取り組みを推進します。さらに、「スマートシティさいたまモデル」を推進し、AI・IoTなどを活用した、民間事業者による生活支援サービスなどの実証実験や社会実装を進めます。

開催が延期された東京2020大会については、大会の成功に向けて取り組むとともに、本市の魅力を発信するための動画上映などを実施します。



シェアスクーターとシェアサイクル

## 新しい時代に対応した行政運営とDX※の推進

今後のポストコロナ時代を見据え、多様化する市民ニーズや新しいライフスタイルに対応するため、窓口手続のオンライン化を拡充するなど、市民サービスや行政の生産性の向上を図ります。

児童生徒に1人1台端末が整備されたことを受け、全ての中学校にプロジェクトを整備し、これまでの対面授業とデジタルのベストミックスを図りながら個別

最適な学びと協働的な学びを推進するなど、教育におけるDXを推進します。

コロナ禍により顕在化した市内企業のデジタル化の必要性やビジネスモデルの変革に対応するため、中小企業に対してAI・IoTなどの実装支援や新技術分野に対する人材育成支援など、企業のDXを推進します。



窓口手続のオンライン化

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略で、将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

# 新たな総合振興計画のスタート

続いては、この4月からスタートする新たな総合振興計画の「重点戦略」と「質の高い都市経営の実現」に沿って、令和3年度の事業の一部を紹介します。総合振興計画については、8ページでも紹介しています。

## 重点戦略1 | 「さいたま」の5つの魅力を生かして、成長・発展する戦略

### 先進技術で豊かな自然と共存する環境未来都市の創造

#### 主な事業

- ・見沼田圃<sup>たんぼ</sup>の保全と新たな活用・創造の推進
- ・E-KIZUNA Project (電気自動車普及施策)の推進 ほか

見沼散策の拠点となる「(仮称)三崎広場」を整備するなど、見沼田圃を引き続き保全・活用・創造します。また、国内外の都市が連携して環境施策を発信・共有する「E-KIZUNAグローバルサミット」開催に向けた準備を進めます。



### 一人ひとりが“健幸”を実感できるスマートウェルネスシティの創造

#### 主な事業

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進
- ・運動習慣の獲得に向けた健康マイレージの推進

高齢者が抱える課題に対応するため、医療・介護のデータを一括で把握し、必要な方に保健師等による健康相談などを実施します。また、ICTを活用し、歩数等に応じてポイントを付与する健康マイレージ事業を実施します。



### 笑顔あふれる日本一のスポーツ先進都市の創造

#### 主な事業

- ・誰もがスポーツに親しむことのできる生涯スポーツの振興
- ・「さいたまスポーツシュール」の活用推進 ほか

子どもたちそれぞれの能力に合ったスポーツを見つける「スポーツ能力測定会」と、大人の健康意識の向上につなげる「体力測定会」を開催し、スポーツに親しむ習慣づくりへつなげます。また、スポーツ医学などの先端的な知識とICTを活用したスポーツ指導や人材育成、スポーツビジネスの創出・活性化のため、民間力を最大限に活用した取り組みを推進します。

### 子どもたちの未来を拓く日本一の教育都市の創造

#### 主な事業

- ・スポーツを科学する生徒の育成
- ・小中学校における水泳授業の民間委託化事業【関連事業】ほか

中学・高校生の部活動などにITを活用し、データと理論に基づくトレーニングや、けが予防・栄養管理・メンタルケアの観点に基づく指導法により、「スマート部活動」さいたまモデルを構築します。また、学校プールの機能性・合理性の向上と質の高い教育の提供のため、小・中学校の水泳授業の民間委託化をモデル的に実施します。

## ヒト・モノ・情報を呼び込み、東日本の未来を創る対流拠点都市の創造

#### 主な事業

- ・大宮駅グランドセントラルステーション(GCS)化構想の推進
- ・浦和駅西口南高砂地区市街地再開発事業
- ・地下鉄7号線延伸促進事業 ほか

大宮駅GCS化構想を具体化するため、大宮駅周辺街区のまちづくり、交通基盤整備、駅機能の高度化を三位一体で推進します。また、浦和駅西口駅前に市民会館うらわ等の機能も備えた複合施設を整備するなど、駅周辺のにぎわいと回遊性の更なる向上を図ります。さらに、引き続き県と共同で調査・検討を行い、地下鉄7号線延伸に向けた準備を加速化させます。



大宮駅周辺でのまちの将来像イメージ

## 重点戦略2 | 未来に引き継ぐための持続可能なまちづくりを進める戦略

### 子どもから高齢者まで、あらゆる世代が輝けるまちづくり

#### 主な事業

- ・送迎保育ステーションの整備
- ・地域づくりを通じた介護予防の推進
- ・福祉丸ごと相談センターの設置【関連事業】 ほか

駅周辺などから近隣幼稚園への児童の送迎拠点となる「送迎保育ステーション」を新たに整備します。また、介護予防教室の開催やボランティア育成により、地域の介護予防に住民と共に取り組みます。さらに、大宮・中央・浦和・岩槻区に相談支援包括化推進員を配置し、「福祉丸ごと相談センター」を設置します。

### 災害に強く、市民と共につくる安全・安心なまちづくり

#### 主な事業

- ・治水対策施設の整備推進
- ・犯罪被害者等相談・支援事業【関連事業】 ほか

浸水被害を軽減し市民の安全を守るため、「油面川排水機場」などの整備を進めます。また、犯罪被害者などが受けた被害の回復や軽減を図るため、相談体制の構築、支援などを実施します。



油面川排水機場の完成イメージ

### 絆で支え合い、誰もが自分らしく暮らせるまちづくり

#### 主な事業

- ・ノーマライゼーションの更なる普及・啓発
- ・自治会への加入促進 ほか

ノーマライゼーション普及のため、ノーマライゼーションカップや「障害者週間」市民のつどいなどの啓発イベントを実施します。また、地域の活動・交流の活発化を目指し、ICTを活用した自治会活動方法の導入や、自治会ホームページの円滑な運営等に向けた支援をします。



施政方針の全文については、市ホームページをご覧ください。

市報さいたまの感想を「#市報さいたま」をつけてTwitterで投稿してください！市ホームページやはがき(〒330-9588 浦和区常盤6-4-4 広報課)でもお待ちしております。

### 激動する新時代に「未来技術」で躍動する地域産業づくり

#### 主な事業

- ・ワンストップ就労支援の充実
- ・効率的かつ安定的な農業経営の実現 ほか

求職者等の就労と市内中小企業等の人材確保のため、「ワークステーションさいたま」で、就職に至るまでのワンストップ就労支援を実施します。また、農業経営の安定化を目指すため、ICT・AI・ロボットなどの先進技術を活用した収益性の高い農業に向けた支援や、農地の集積・集約化のため、担い手への農地貸付けを促進します。

### 環境に配慮したサステナブル<sup>※</sup>で快適な暮らしの実現

#### 主な事業

- ・食品ロス削減・プラスチックごみ削減等の推進
- ・サマルエネルギーセンターの整備【関連事業】 ほか

ごみの効果的な減量施策を検討・策定し、市民・事業者・行政が連携しながら進めます。また、西部環境センターと東部環境センターを統廃合し、サマルエネルギーセンターを建設するため、新施設の本体工事に着手します。

※サステナブル…持続可能な意。

### 質の高い都市経営の実現

#### 主な事業

- ・「さいたま市CS90<sup>プラス</sup>+運動」の推進
- ・スマートフォン決済の導入 ほか

2030年までに市民満足度を90%以上とすることを目標とした「さいたま市CS90+運動」を推進します。また、納税者の更なる利便性向上と接触機会低減のため、市税の納付にスマートフォンアプリを利用したキャッシュレス決済を導入します。



#### 今月の表紙

「これから」に注目しよう！みんなの笑顔があふれるように文字も笑って見えますね！

